

レッドテールキャット

普段から妄想したり、あれこれ詮索したりすることが好きな私ですが、いざ文章にしてみようと向かうと、気恥ずかしくなりますが、お付き合いください。

今回は、長年飼っている熱帯魚のレッドテールキャットについて少しお話しさせていただきます。この魚は、熱帯魚ショップに行かれたことがある方や、熱帯魚の飼育経験のある方ならご存知でしょうが、[熱帯原産の大型ナマズ](#)です。

名前の由来でもある赤い尾びれが特徴的な、非常に愛嬌のあるスタイルをしていて、ずいぶん前のポッキーのCMにも登場したことがあります。

ショップでは、稚魚が売られたりすることがありますが、[5cm ほどの稚魚が、100cm を超える成魚になる](#)ため飼うことを躊躇する人がほとんどです。

実は、大学生の頃にも飼っていたこともあり、私にとって非常に愛着のある魚です。

出会いは8年前、当時できたばかりのペットショップの目玉として入っていました。まだ10cm ほどしかなく元気に水槽を泳ぎ回っていました。一目見て、飼いたい衝動にかられましたが、大変さを知っているため、また飼育する準備もできていないためやり過ごすことにしました。しかしいったん考えてしまうと気になって仕方ありません。今度行って、「まだいたら飼おう」と思い、ペットショップに向かいました。

…いました。

店員さんに聞くと、「実はもう売れないから引き上げようと思っている」ということで、背中を押された気がしました。

初めは30cm ほどの水槽で、飼い始めました。環境が変わると警戒すると思いましたが、うちに来ても元気に泳ぎ回っていました。餌は生き餌などが食いつきがいいことは知っていましたが、それは可哀想なので、固形の餌だけで飼育しようと決めていたので、餌ぐいが少々心配でしたが、大きな病気もなくスクスクと育っていきました。[1ヶ月で倍くらいの大きさになり、それに伴い、水槽も横幅が、60cm、120cm、180cm と大きくなっていきます。](#)

大型魚は水を汚すため、水替えも頻繁に行わなければなりません。ろ過装置も必要ですので、ろ過用の水槽も120cm あり、一度の水換えはお風呂200~300Lですが、[こちらは一度に水換えする量は800Lほどになります。](#)

念入りに掃除をしようとすると、半日かかります。

生き物なので、やはり手を抜くと体調が悪くなります。長年見ていると、体調だけでなく、表情までわかってきます。「犬や猫じゃあるまいし」と思われると思いますが、こ

れは本当にそう思います。

医院の待合室で飼育しているのですが、馴染みの患者さんなどは「大きくなったねえ」「私より長生きするねえ」など、好意的なコメントもあれば、「いつになったら食べるんや」「蒲焼にしたらどうや」といったものもあり、いろいろな話題を提供してくれます。

そんな彼も(勝手に男にしていますが)今年で9年目を迎えます。

今は、体調 80cm くらいでしょうか。もうこの環境では、これ以上大きくなることはないと思いますが、今後も愛情を持って育てていきたいと思っています。